



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイリングクラブ合併)

2024年
5月号
(第11号)

今月のことば

「報いを望まず、人に与えよ。」(讚美歌 566 番より)
(伊藤幾夫 選)

2023～2024 年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「さあ、ワイズの楽しさを広めよう！」
 東新部部长 今井武彦(東京むかで)「ALL 東新部、継続・発展！」
 東日本区理事 山田公平(宇都宮)「未来のために今、学びと気づきを！
 未来のために、自信を育み、真の喜びに出合う！」
 アジア太平洋地域会長 利根川恵子(川越)「変革のための光となろう！」
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)「輝かそう、あなたの光を」
 《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 副会長 為我井輝忠 直前会長 深尾香子、為我井輝忠
 書記 田中博之 副書記 尾張日出夫 会計 綿引康司 副会計 城田教寛
 担当主事 小野 実

(当クラブは多摩市社会福祉協議会、町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です)

今月の強調テーマ: LT (Leadership Training : 会員のリーダーシップ開発・向上) / ユース (若者支援)

5月例会プログラム

日時: 5月7日(火) 19:00～20:30
 会場: 玉川学園コミュニティセンター多目的室
 会費: なし(夕食はありません)
 *オンライン (Zoom) でも参加できます

司会: 為我井輝忠 受付: 小野 実

- *開会点鐘 伊藤幾夫会長
- *ワイズソング 一同
- *今月のことば 会長
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *会長挨拶
- *今月のスピーチ
「バリアフリーの世の中って？」
菅谷マズミさん(チェロ奏者)
- *チーム報告(プランター講座、農園、社協など)
- *YMCA ニュース、各種アピール等
- *スマイル
- *今月のハッピーバースデー
- *YMCA の歌
- *閉会点鐘 会長

(お願い)町田福祉バザーへの献品をご持参ください。

5月の Happy Birthday

石川良一さん(8日)

巻頭言 「高い出席率」



昨年7月に新生「東京多摩スマイルクラブ」として発足して10か月が経ちました。「ワイズは楽しい」を基本に私たちは活動しています。この「楽しい」の中には、ワイズならではの充実感、矜持、信頼、親睦などが含まれています。このワイズならではの要素こそが、私たちがワイズに惹かれる一番大事なことのように思います。このような「ワイズ」を私たちは存続していきたいし、仲間をもっと増やしたいと思っています。そんな思いで、2つのクラブが一緒になりました。人がたくさん集まると活気が生まれる→活気があると楽しさも生まれる→楽しそうなどころには人も集まる、このような好循環を私たちは期待し、また、実感しています。昨年7月から今年4月までの例会出席率(メーキャップも含めて)は99%(9月以外はすべて100%)でした。統合前では考えられない高い出席率です。人が交じり合うとそこに「化学反応」が生まれ、より楽しさも加わるのかもしれませんが。そういう意味でも、新しい会員が毎年加わるのが期待されます。今年度もクラブの目玉事業のひとつである「プランター野菜講座」が5月15日から5回にわたってオンラインで開催されます。この講座に参加された方がワイズ会員にもなっています。今回も楽しみです。(伊藤幾夫記)

4 月 例 会	在籍17名 (内広義会員6名)	出 席 内 訳	メンバー 9名	BF (分量については積算中。昨年度分 と合わせて、次期研修会に持参)	g	オークション 0円 (今年度累計 8,500円)
	例会出席 15名 (リアル10名,Zoom5名)		メーキャップ 2名		出席率 100%	ぼんぼこファンド 0円 (今年度累計 2,800円)
			メネット 0名			
			ゲスト・ビジター 6名			

4月例会報告

4月2日(火)、東京多摩スマイルクラブの4月例会が開催されました。ベルブ永山をメイン会場としてのハイブリッド開催でした。

メインのスピーチは、東京YMCA職員の中里さんによる「41日間の避難所支援体験記」と題する、東京YMCAによる能登半島地震被災地支援の報告でした。



前半は、日本YMCA同盟全体での支援活動(内閣府からの要請による金沢市のいしかわスポーツセンターに開設された1.5次避難所の支援)、東京YMCAの支援活動(輪島市からの要請による輪島市町野の避難所の支援(市職員のサポート))の概要、避難所の運営、避難者の一日の過ごし方等の紹介でした。後半は、スライドによって、被災直後の状況、避難所の様子等の紹介が行われました。

避難所支援で心がけたことは、避難者にも各支援団体にもYMCAの存在を認めてもらい、関係を作ること、避難所に貼りついでの支援を行い、避難されている方々からの信頼も得られ、次のフェーズ(4月以降は、富山YMCAが中心になっての全国支援)への土台作りができたとのこと。

スピーチ後、Zoomでビジター参加された、被災者であり、支援者でもある、とやまクラブの清水さんからも、被災地の現状、支援の現状、今後の活動の計画についてお話いただきました。



ぼんぼこ農園の現状等の報告、クラブユニフォームについての田中からの提案に基づいての相談の後、定刻を少し過ぎて閉会となりました。(田中記)

＜出席者＞石田、伊藤(幾)、伊藤(江)、城田、田中、為我井、深尾、藤田、綿引

＜ビジター＞【東京世田谷】渡邊実帆【東京八王子】小口多津子、山本英次【長野】森本俊子【とやま】清水敦

＜ゲスト＞中里敦

＜メーキャップ＞小野、尾張

＜メーキャップ＞小野、尾張

＜メーキャップ＞小野、尾張

4月第2例会(運営会議)報告

4月8日(月)19:00から、第2例会(運営会議)がZoomにて開催されました。

4月例会報告、会計報告、5月例会プログラム、5月ブリテン構成の他に以下のことが報告、話し合われました。

- 第7期プランター野菜講座：クラブメンバーもぜひ参加を
- ワイワイウォークのアピール
- 当クラブのW4Wの実施要領：第3回東新部評議会(4月20日)の開会前に東陽町センター周辺で実施する。
- クラブユニフォーム(ベスト)の費用負担：1枚あたり4,180円の内、2,000円を個人負担、2,180円をクラブ会計負担とする。各メンバーは、実物を受け取った後、クラブ会計に振り込む。
- クラブ会計の統合：会費未納分を無くした状態で、今年度末に、旧東京町田スマイリングクラブの会計残高を旧東京多摩みなみ会計に移管し、会計を統合する。新年度のクラブ会費については継続審議

(田中記)

＜出席者＞石田、伊藤(幾)、小野、尾張、城田、田中、為我井、深尾、綿引 合計9名

W4Wの活動報告

東日本区全体での統一活動で、世界中のワイズメンズクラブが実施するクリーンアップ・キャンペーン「Week 4 Waste (W4W)」の活動を当クラブも行いました。今年度の指定された実施期間中の土曜日が4月20日で、当日は午後から東新部評議会の開催が予定されていたことから、その参加者(伊藤会長、石田、田中、綿引の4名。深尾さんは都合により不参加)で東京YMCA



東陽町センターの周辺のゴミ収集を行いました。東陽町の周辺はとても清掃が行き届いており、ゴミはさほど落ちていませんでしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。収集したゴミの重さ：

3.5kg。なお、当日はクラブの新ユニフォームの「白いベスト」を着用し、そのまま東新部評議会にも出席をしました。

(綿引記)



5月例会のスピーチ

「バリアフリーの世の中って？」

チェロ奏者

菅谷マスミ さん



【スピーチ概要】

私なりの音楽とバリアフリーをお話した後、小物打楽器をつかって遊んで見ようと思います。

【菅谷さんプロフィール】

町田市玉川学園在住

国立音楽大学卒業（チェロ専攻）

NPO 法人町田楽友会理事

まちだ・さがみユネスコ協会理事

響きの森オーケストラの指導

学芸大、日本女子大、帝京大などでゲスト講師を務め、後進の指導に努めている。

（為我井輝忠さんのご紹介）

第 18 回ペタペタの会開催報告

4月29日（月・祝）東京YMCA 西東京センターが主催するウォーキングプログラムである、ペタペタの会が、開催されました。

お天気に恵まれ、17名の参加者が、三鷹駅→玉川上水沿いの遊歩道→山本有三記念館→井の頭公園/井の頭自然文化園（彫刻園、動物園）→井の頭公園駅の約7キロ、1万歩を、ペタペタと歩きました。



今回は、YMCA 会員やワイズメン/ウィメン以外にも一般の方が子供連れで参加されたり、若者の参加もあったり、YMCAらしいプログラムとなりました。残念ながら、西東京センターは、オフィスが無くなり、スタッフレスにもなりましたが、ペタペタの会は、西東京センターに関わるひとたちの交流の場を継続し、YMCAのプレゼンスを維持する機会となるプログラムです。次回は、11月に開催予定です。ぜひご参加ください。

（田中記）

<当クラブからの参加者>田中、綿引

第 7 期プランター野菜講座が始まります！

5月14日（火）から第7期のプランター野菜講座が始まります。前回講座の終了から6ヶ月が経ちました。リピーターに加えニューフェイスの発掘に努めています。前回から申込み方法をメール返信方式から講座のチラシのQRコードからGoogle Formの仕組みを使って申込みをしていただいています。参加者一覧の変化の状況が直ぐ確認できます。既に参加申し込みを受けている人、これからお申し込みをいただく人を加味して20名程度の参加者が見込まれます。この講座は、ひとえに藤田智さん（＝写真）のボランティアマインドに依存して成り立っています。研究者としての豊富な経験とNHKの「やさいの時間」等で取り上げたテーマなどから栽培野菜の選



定と歴史、分布状況、育て方のレッスンがあり、Zoom画面とは言え参加者から送られてくる生育写真の講師と参加者のマンツーマンのワンポイントレッスンや肩の凝らない笑いに包まれた講座です。参加者同士の楽しいコミュニケーションなど、75分程度の講座時間ですが、楽しいひと時に浸れると思います。また、この講座は、チャリティー講座としての性格もあります。運営は、すべてボランティアで支えられています。参加費をご頂戴していますが、直接経費以外の資金をプールして東京YMCAや地元で恵まれない人たちに「幸せ」を運んでいるNPO法人の「ほくの家」や一般社団法人の「慈有塾」に寄付金としてお届けしています。

（石田記）

第 3 回評議会 & 次期クラブ役員研修会

4/20（土）13:30～17:00、東京YMCA 東陽町センターにて、表記の会議がハイブリッド方式で開催されました。出席者21名（内、Zoom4名）、当クラブからの出席は伊藤、田中、綿引、深尾、石田、城田（Zoom）でした。評議会では、部長方針、予算案、次期部役員等が承認されました。また、東京世田谷クラブの解散についても協議され承認されました。次期クラブ役員研修会では、次年度のスケジュール、部大会、各事業方針等が示されました。

（伊藤幾記）



第 27 回東日本区“十勝”大会(再)

日時：6月1日（土）12:30～大晚餐会

会場：（区大会）とかちプラザ

（大晚餐会）ホテル日航ノースランド帯広

登録費：20,000円（大晚餐会費含む）

ぽんぽこ農園便り

このところ季節の変わり目の天候不順が続き、野菜にとって辛く厳しい季節を迎えています。農園の管理を一手に引き受けている佐々木さんが、野菜の生育状況を見ながらこまめにメンテナンスをしてくれています。お陰様で、ジャガイモの生育状況は順調



に見えます。葉っぱの色艶、背丈とも申し分ない出来だと思えます。5月18日(土)の町田福祉バザーには間に合わないかも知れませんが、代わって玉ねぎとニンニクが収穫間近の状態でした。また、耕作を休ませていたエリアには、夏野菜のミニトマト、なす、ピーマンの苗が植え付けられていました。防虫用の防護ネットの中ですくすくと育っていました。あっという間に収穫の時を迎えることでしょう。「慈有塾」や「ほくの家」に採れたての新鮮野菜を届けた時の感謝の笑顔が、今から目に浮かんできます。(石田記)



町田福祉バザー

町田ボランティア連絡協議会(当クラブ加盟)主催の“春季福祉バザー”が下記の日程で開催されます。当クラブは、ぽんぽこ農園での収穫野菜や会員持ち寄りの不要品を販売します。ご都合のつく方はご参加をよろしくお願ひします。(伊藤幾記)

日時：5月18日(土)10:00～15:00

場所：ぽんぽこ町田広場(JR横浜線町田駅徒歩3分)

これからの予定

5/7(火) 19:00～20:30 5月例会 玉川学園コミセン

5/8(水) 19:00～20:30 東新部会長会 オンライン

5/9(木) 19:00～20:30 Y友広場 オンライン

5/13(月) 19:00～20:30 5月第2例会 Zoom

5/14(火) 19:00～20:30 プランター講座① Zoom

5/18(土) 10:00～15:00 町田福祉バザー ぽんぽこ町田

5/25(土) YMCA 会員大会、10:00 在京ワイズ会長会

山手センター

5/28(火) 19:00～20:30 プランター講座② Zoom

6/1(土) 第27回東日本区大会 十勝

6/4(火) 19:00～20:30 6月例会 ベルブ永山

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

YMCA 運動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

1. 3月末までを第1次募金期限としていた「能登半島地震YMCA緊急支援募金」は、全国YMCAが協力し第2次支援募金として4月以降も継続することになりました。3月末までに東京YMCAには8,169,890円の募金が寄せられ、支援スタッフの派遣費用、支援物資の購入などに用いられています。
2. 2002年に開設した西東京コミュニティーセンター(国立市)が3月末に閉館しました。これまでの働きは、一橋大学YMCA学生寮(国立市)のホールをお借りして、新年度からはじまる「多文化共生スペース▽(さんかく)」など、事業の形を変えて引き継がれます。
3. 4月16日、「第2回ウクライナYMCA支援活動報告会」がオンラインで開催されました。日本から約40人、ウクライナYMCAから約20人のスタッフや会員が参加しました。東京YMCAがこれまでに送金したウクライナ支援募金55,000ドルにより、戦争で傷ついた子どもたちの心のケアを目的とするキャンプを実施し、約2,600人が参加することができたとの報告がありました。
4. 4月18日、「第33回チャリティーゴルフ大会」がPGM総成ゴルフクラブで開催され、23グループ87人が参加しました。益金約40万円は、能登半島地震被災地支援およびフレンドシップファンド(経済的支援が必要な子どものプログラム参加費支援)のために用いられます。
5. 各学校の入学式が下記の通り行われました。
 - ・社会体育・保育専門学校 4月2日
日本基督教団霊南坂教会 新入生 78名
 - ・国際ホテル専門学校 4月4日
日本基督教団霊南坂教会 新入生 89名
 - ・医療福祉専門学校 4月8日
くにたち市民芸術小ホール 新入生 61名
 - ・にほんご学院 4月8日
社会体育・保育専門学校演習室 新入生 55名
6. 今後の主な行事予定
 - ・「早天祈祷会」5月7日 奨励：菅谷淳総主事(山手センター/オンライン)
 - ・「第21回会員大会」5月25日(山手センター)

編集後記

ゴールデンウィーク真っ最中。気候の変化が激しく、気温差がこたえます。5月14日から「プランター野菜講座」が始まります。好評で今回が第7回となります。5月は新緑がきれいな季節です。区大会が開催される6月初旬の十勝もさぞかし自然が美しいことでしょう。「とかちに行こう！」(i.i)